

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年						平成28年														
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~6日	11月 ~13日	11月 ~20日	11月 ~27日	12月 ~4日
カンピロバクター	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	13	21	11	20 (21)	18
病原性大腸菌	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	49	54	39	36 (38)	39
腸管出血性大腸菌	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	0	0	0	0
サルモネラ	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	2	1	1	0	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	2	1	2	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	3	5	3	2 (3)	3
腸炎ヒブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	1	0	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第48週(11月28日~12月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8	1			1	2	1	3	
三類	0	発生なし	0								
四類	6	つつが虫病	4	2				2			
		レジオネラ症	2				1	1			
五類全数	5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2			1		1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1	
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		梅毒	1					1			

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第48週 11/28～12/4)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点医療機関からの報告数が、111人(定点当たり3.00人)と、前週の約4.1倍に急増しました。インフルエンザは、例年流行が始まると短期間に感染が拡大するため、注意が必要です。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が4件報告されており、今シーズンの累計は7件となりました。早めのワクチン接種、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

2. 感染性胃腸炎

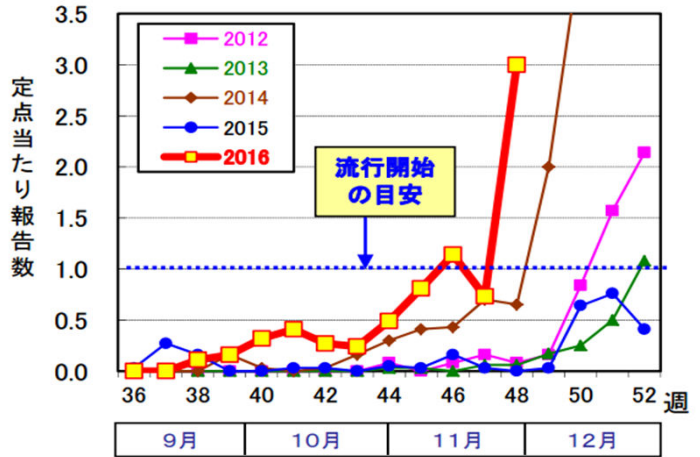
定点当たり20.9人と本格的な流行が続いており、集団発生も2件報告されています。

感染予防のため、手洗いを励行し、便・吐物の適切な処理を徹底しましょう。

3. つつが虫病

2件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
小児科	インフルエンザ	111	3.00	0.47	↑	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.77		↑	↑	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	咽頭結膜熱	15	0.63	0.49	↑	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	1.22		↑	↑	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.38	1.88	↑		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		↑	↑	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	501	20.88	9.03	↑	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	1.03		↑	↑	
	水痘	20	0.83	1.55	↑	小児科	細菌性髄膜炎	-	-	-		↑	↑	
	手足口病	14	0.58	0.43	↑	小児科	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		↑	↑	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.33	↑	小児科	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.23		↑	↑	
	突発性発しん	7	0.29	0.39	↑	小児科	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↑	↑	
	百日咳	-	-	0.11	↑	小児科	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↑	↑	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.08	↑	小児科						↑	↑	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	135	女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	つつが虫病	2	8	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	20	男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	22	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	15	男性(30歳代)・感染者
5	梅毒	1	22	女性(30歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0) 咽頭炎	3	男	2016/10/29	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9) 咽頭炎	0	女	2016/09/23	糞便 尿	コクサッキーウイルスB2型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 肺炎	3	女	2016/10/15	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(38.0) 丘疹 水疱	1	男	2016/10/23	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB3型
その他の疾患	発熱(40.0)	0	男	2016/10/23	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載